

ま ち の 話 題

豊 岡

第17回とよおか津居山港かにまつり 威勢のいい掛け声で 会場は熱気ムンムン

2月24日、「第17回とよおか津居山港かにまつり」が津居山港の小島岸壁で開催され、観光客ら約6千人でにぎわいました。

このまつりは、カニ漁期の無事を願い、地元海産物をPRするために開催し、カニの即売やゲーム、大抽選会などが行われました。大人気の「素人新鮮うまいもの競り市」では、松葉がにや但馬牛が市価の半値以下で買えるとあり、ステージ前に集まった参加者は気迫のこもった掛け声を飛ばしていました。このイベントに参加するため神戸市から訪れた中西康博さんは、「予定通りの価格で競り落せました。楽しかった」と満足そうでした。



▲この日一番目のせりで松葉がにを最安値900円で競り落とし、喜ぶ参加者

城 崎

ふれあいコンサート アルパのすがすがしい 音色にうっとり

2月29日、上之山幸代さんのアルパ（南米のハープ）とトークによるふれあいコンサートが、城崎地区公民館で開催され、約90人が参加しました。

このコンサートは、城崎地区公民館竣工記念事業と人権教育研修会を兼ねて行われ、城崎小学校5・6年生約60人も参加しました。小学校などでカウンセラーも務める上之山さんは、南米パラグアイで出会ったアルパを演奏しながら、助け合い、心ふれあい、感謝することの大切さを語りかけました。お礼に花束を贈呈した仲路愛里さん（6年）は、「今まで何気なく言っていた『いただきます』をこれからは心を込めて言いたい」と話していました。



▲アルパ(右)の音色と楽しいトークに聞き入る参加者たち

竹 野

「誕生の塩工房」 火入れ式 たけのスタイルの目玉に！

2月23日、海水からの塩作りが体験できる「誕生の塩工房」が竹野町竹野の浜辺に完成し、関係者ら25人が見守る中、塩たき釜の火入れ式が行われました。

この工房は、たけの観光協会の会員らが手作りして建てたもので、同町の海岸沿いにある地名「誕生」にちなんで命名されました。

工房には、約150リットルの海水を煮つめていく塩たき釜や、煮つめた海水を塩に仕上げるかまどが設置されています。

今後は、体験型環境旅行の誘致を積極的に推進するプロジェクト「たけのスタイル」の体験メニューの1つとして活用されます。



▲塩たき釜に火入れを行い工房の完成を祝う関係者ら

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係まで連絡ください。



▲通学途中に音盤をたたく子どもたち

日高

赤崎橋が音楽情報番組で紹介

メロディーを奏でる 意外なもの

3月7日、幅広い年代から支持されている音楽情報番組「ミュージックステーション」(朝日放送)で、円山川に架かる赤崎橋歩道橋(日高町赤崎)(通称・メロディーブリッジ)が紹介されました。

この橋は、日本一長いメロディーブリッジで、欄干に全部で96枚の音盤が取り付けられており、順にたたいていくと、ベートーヴェンの「第九・よろこびのうた」のメロディーが奏でられます。赤崎区では、毎年、小学1年生になった子どもたちに音盤をたたくパチ(マレット)がプレゼントされ、子どもたちはこのメロディーを奏でながら通学しています。

出石

出石地域親善卓球大会

元気な応援に フライングプレー続々

3月9日、第3回出石地域親善卓球大会が、出石B&G海洋センターで開催されました。

同大会は、出石町体育協会の主催により毎年開催されており、公民館主催の大会と合わせると今回で38回目の開催となります。

当日は、男女8人が1チームとなり、計12チームが参加し、男子シングルス・ダブルス、女子シングルス、男女混合ダブルスで熱のこもった競技を展開しました。

優勝した福住Aチームは「15年ぶりに優勝できたのでとてもうれしいです。応援ありがとうございました」と賞状を手にして喜びをかみしめていました。



▲練習の成果を披露しようと熱のこもった試合をする選手たち

但東

食育講演会

あなたの子育ての ゴールはどこですか？

3月1日、食育講演会(但東青少年健全育成子育て応援団主催)が合橋地区公民館で行われ、子育て中の方など37人が参加しました。講演は、管理栄養士の岡崎典子さん(豊岡市津居山)が「子どもの心とからだの根っこを育む食育」と題して、「味覚は9歳までの食事で形成されます。主食はパンよりご飯やみそ汁をしっかりと食べることが大切です。さらに徳育、体育、知育の土台が食育です」と話しました。

参加者たちは、子どもたちを取り巻く「食」のさまざまな問題や毎日食べることの意味について、個々にメモを取り、学んでいました。



▲「子育てのゴールも一緒に考えてみましょう」と食育について講演する岡崎典子さん